令和4年度松江市PTA連合会 研修委員会活動報告

研修委員長 山根 博幸

1. 研修委員会(会合)

第1回 令和4年 6月21日 (火) 20:00~松江市民センターにて打ち合わせ

第2回 " 6月29日(水) 19:00~オンラインにて講演会の打ち合わせ

第3回 "8月3日(火)09:00~オンラインにて研修会の打ち合わせ

第4回 "12月 4日(土) 11:00~オンラインにて講演会打ち合わせ

第5回 令和5年 1月16日(木) 12:00~講演会講師との打ち合わせ

2. 研修大会 2回開催

日時: 令和4年8月8日(月) 13時~15時

場所:玉湯学園 および録画配信 https://youtu.be/sSGgvB3Prnc (1:07:23)

内容:ICT教育の現状と課題について、熊本市教育長と松江市教育長とPTA 役員の対談

演題 (テーマ) 「これからの松江市の未来を担う子どもたちに

今、何が求められるのか?」

参加者数:会場(玉湯学園) 8名 動画再生(回数 287 回)

日時:令和5年1月21日(土) 13時~16時

場所:玉湯学園 および録画配信 https://youtu.be/P5v3KKZ0AsY (2:13:43)

内容: 司法書士 日本ノートメソッド協会認定シニアトレーナー青木文子氏による講演

演題 (テーマ) 「未来の子どもたちへ求められる考える力」

参加者数:会場(玉湯学園) 20名 動画配信(2月17日から公開)

【感想】

未来の子供たちに求められるものは?、親が子供達に残せるものは?、社会の変化のスピードが速い中で子どもたちが主体的に自分のやりたいことを見つけ、将来どのように社会と関わり貢献していくのかを、教育に関わる方と語り合えることで多くのヒントを見つけました。

私が見つけた答えの一つは子供達の可能性を信じて見守ること「丸をつける」ことです。子どもたちの無限の可能性に蓋をするも、しないのも親として関わり方にあると感じました。そして ICT は子供達の可能性の扉を開くための手段であり、親も子供もお互いに理解し合い幸せになるために活用してきたいと感じました。

コロナ禍で会場は少人数開催、後日録画配信の開催は、より多くの方に見てもらう手段として最適と感じました。

【課題】

□録画配信について

動画再生数 287 回が各学校ヘチラシ配布が効果的なのか?

より多くの方に見てもらうためには、告知の工夫が必要なのでは?

全会員に確実に伝わる手段を今後検討必要。

案)メディアの活用 SNS、マーブル取材、新聞掲載、当日の取材の依頼など

□コロナ状況に応じた開催のかたち

年度はじめ4月より(年明け)1月のコロナ状況を判断して玉湯学園での人数絞っての講演+動画配信を予定→(当日)コロナ感染者数は527人となっていた。感染対策を行なってBJリーグ、研修大会などは開催されていました。コロナ禍での開催については、今

後は、現地開催+LIVE配信+後日配信の形がより多くの方に見てもらえる手段として活用と工夫が必要

□研修大会のありかた 意義について

いい話、聞いたなで終わらない。学んだことを実践をする機会が必要と感じます。 開催までの役割分担について、ブロック役員の負担が多く感じる。

全員参加型へのシフトが必要では。

動画視聴後のアンケートが少数で次回の改善点が見つかりにくく回収率も工夫が必要では。

以上

令和4年度 松江市P連 研修大会 (研修委員会)



場所:玉湯学園 視聴覚室

参加人数: 21名(保護者18名 松江市教委3名)

★ 「未来の子ども達に求められる考える力」







講 師 : 青木文子 氏

(司法書士・日本ノートメソッド協会認定シニア方眼ノートトレーナー)







石川会長 あいさつ

藤原教育長 あいさつ

講師紹介(山根研修)

研修会の様子









山根研修委員長 お礼のあいさつ